

令和 2 年度 地域包括ケア会議・在宅医療推進協議会合同会議 資料（抜粋）

1 令和 2 年度の実施事業について

(1) 県西地区地域包括ケアシステム推進行政担当者会議の開催

県西地区 2 市 8 町の行政担当者間の顔の見える関係の構築、情報共有・連携を目的として標記会議を開催した。

なお、令和 2 年度は、医療・介護連携に係る現場の課題を解決するための議論を深めるため、地域医療連携施設等の実務担当者にも参加いただいた。

○第 1 回 令和 2 年 7 月 20 日（火）書面会議

内 容 ・令和元年度合同会議の結果概要
・令和 2 年度の取組について

○第 2 回 令和 3 年 2 月 15 日（月）書面会議

内 容 ・令和 2 年度の活動報告
・令和 3 年度の取組について

(2) 普及啓発事業（研修、講演会等）の計画検討状況

市町単独での取組が困難な分野での研修や、地域包括ケアシステムの構築にあたって欠かせない地域住民の自助・互助への普及啓発を継続的に進めるための講演会等を開催。

なお、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止とし、市町等関係機関に意見照会を行い、今後数か年度を想定したプランニングや、感染拡大防止の観点から研修、啓発事業の方法等について検討、計画づくりを進めた。

(3) 医療・介護連携に係る意見交換会の開催

令和 2 年 10 月 28 日（水）開催

内 容 ・これまでの議論の経過と論点について
・今後の取組み方向と進め方について

2 県西地区地域包括ケア会議・県西地区在宅医療推進協議会合同会議

個々の市町では解決が困難な課題への対応や、広域的に取り組むことが効果的な事業の検討、意見交換等を行い、県西地域の地域包括ケアシステムの推進に資することを目的に開催。

○令和 3 年 3 月 10 日（水）書面会議開催予定

内 容 ・令和 2 年度の活動報告
・令和 3 年度の取組について

3 令和3年度の取組（案）

令和2年度に作成した「今後の取組み方向」に基づき取り組むこととします。

1 情報の共有

- ・行政担当者会議の開催
- ・2市8町の顔の見える関係づくりと情報共有

(ウ) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

2 研修、普及・啓発

- ・市町単独での取組が困難な分野に特化し開催
- ・地域における医療と介護のあり方に関する講演、広域性・専門性が必要な分野に関する研修等

実施内容及び実施方法について、行政担当者会議で検討する

3 県西地区地域包括ケア会議・県西地区在宅医療推進協議会合同会議の開催

時期 令和4年2～3月 予定

参考 <地域包括ケアシステムに関連する保健福祉事務所の事業等>

- ・地域福祉関連事業（みんなのバリアフリー街づくり条例に基づく取組等）
- ・歯科保健事業（歯と口腔の健康保持増進の取組等）
- ・栄養・食生活対策事業（関係機関と連携した介護予防のための低栄養対策等）
- ・介護保険指定事業者指導（介護保険法に基づくサービスの質確保のための指導等）
- ・難病対策事業（難病患者への支援体制整備のための協議会開催等）
- ・精神保健福祉事業（地域精神保健福祉対策を推進するための協議会開催等）
- ・認知症対策保健所事業（若年性認知症等の普及啓発、若年性認知症家族会等）
- ・感染症対策（新型コロナ感染患者等に係る医療介護連携の相談等）

<構式1> 東西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組(R2年度実績とR3年度計画) ~包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について~

R2年度計画		R2年度実績		R3年度計画	
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
新規開業、閉鎖等の事業所の確認をしてHP上に訂正する。	介護事業所の情報は変わりが易いのでHPで定期的に確認した	改訂版の発行を行政と共に検討する。	改訂版の発行を行政と共に検討する。	改訂版の発行を行政と共に検討する。	改訂版の発行を行政と共に検討する。
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加 PICAサイクルに添った政策が出来るよう市町村と協働するため研修会を開催する。	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議5回 1市5町の地域ケア会議等への出席 20回 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 5回 他機関で開催する研修会への参加は全てWEB参加となった。2回 PICAサイクルに添った政策が出来るよう市町村と協働するため研修会を開催する。	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 5回 他機関で開催する研修会への参加 PICAサイクルに添った政策が出来るよう市町村と協働するため研修会を開催する。	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 5回 他機関で開催する研修会への参加 PICAサイクルに添った政策が出来るよう市町村と協働するため研修会を開催する。	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 5回 他機関で開催する研修会への参加 PICAサイクルに添った政策が出来るよう市町村と協働するため研修会を開催する。	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 5回 他機関で開催する研修会への参加 PICAサイクルに添った政策が出来るよう市町村と協働するため研修会を開催する。
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
県立足柄上病院地域連携推進連絡会12回 医療・介護地域連携連絡会 6回 業種別の情報交換会、勉強会は、訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 5回 グループホーム5回、入所施設 5回 足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回 県立足柄上病院が地域医療支援推進病院として登録されると年10回以上の連携した研修会等の開催がノルマとなるためより連携した事業が可能となる。	県立足柄上病院地域連携推進連絡会 8回 医療・介護地域連携連絡会 2回 業種別の情報交換会、勉強会は、訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 3回 グループホーム3回、入所施設 2回 足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回	県立足柄上病院地域連携推進連絡会 12回 医療・介護地域連携連絡会 6回 業種別の情報交換会、勉強会は、訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 5回 グループホーム5回、入所施設 5回 足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回 県立足柄上病院が地域医療支援推進病院として登録されると年10回以上の連携した研修会等の開催がノルマとなるためより連携した事業が可能となる。	県立足柄上病院地域連携推進連絡会 12回 医療・介護地域連携連絡会 6回 業種別の情報交換会、勉強会は、訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 5回 グループホーム5回、入所施設 5回 足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回 県立足柄上病院が地域医療支援推進病院として登録されると年10回以上の連携した研修会等の開催がノルマとなるためより連携した事業が可能となる。	県立足柄上病院地域連携推進連絡会 12回 医療・介護地域連携連絡会 6回 業種別の情報交換会、勉強会は、訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 5回 グループホーム5回、入所施設 5回 足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回 県立足柄上病院が地域医療支援推進病院として登録されると年10回以上の連携した研修会等の開催がノルマとなるためより連携した事業が可能となる。	県立足柄上病院地域連携推進連絡会 12回 医療・介護地域連携連絡会 6回 業種別の情報交換会、勉強会は、訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 5回 グループホーム5回、入所施設 5回 足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回 県立足柄上病院が地域医療支援推進病院として登録されると年10回以上の連携した研修会等の開催がノルマとなるためより連携した事業が可能となる。
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
あしがらケアマネジャー連絡会への支援 CW対象へ差出の理解を深める CW同士の研修を積み、情報交換や懇親会などポムムページの活用	神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンターや神奈川県介護支援専門員協会主催の研修会の周知、その他、依頼があった研修会等の案内をFAXやメール等で周知した。	あしがらケアマネジャー連絡会への支援 CW対象へ差出の理解を深める CW同士の研修を積み、情報交換や懇親会などポムムページの活用	神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンターや神奈川県介護支援専門員協会主催の研修会の周知、その他、依頼があった研修会等の案内をFAXやメール等で周知した。	あしがらケアマネジャー連絡会への支援 CW対象へ差出の理解を深める CW同士の研修を積み、情報交換や懇親会などポムムページの活用	神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンターや神奈川県介護支援専門員協会主催の研修会の周知、その他、依頼があった研修会等の案内をFAXやメール等で周知した。
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。1市4町	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
年2回程度 懇親会を入れて顔の見える関係づくり フェイスカレッジができるグループワークやワールドカフェなど	がんの疾患の理解とケアについて (WEB研修)	年2回程度 懇親会を入れて顔の見える関係づくり フェイスカレッジができるグループワークやワールドカフェなど	がんの疾患の理解とケアについて (WEB研修)	年2回程度 懇親会を入れて顔の見える関係づくり フェイスカレッジができるグループワークやワールドカフェなど	がんの疾患の理解とケアについて (WEB研修)
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
年2回程度予定 5月23日(土) 映画上映と監督講演「ぼけますからよろしくお願ひいたします」	映画上映と監督講演「ぼけますからよろしくお願ひいたします」	年2回程度予定 5月23日(土) 映画上映と監督講演「ぼけますからよろしくお願ひいたします」	映画上映と監督講演「ぼけますからよろしくお願ひいたします」	年2回程度予定 5月23日(土) 映画上映と監督講演「ぼけますからよろしくお願ひいたします」	映画上映と監督講演「ぼけますからよろしくお願ひいたします」
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
1市5町の担当者会議の開催 東西地区在宅医療推進協議会 東西地区の会議に出席	1市5町の担当者会議の開催 5回 東西地区在宅医療推進協議会 1回 足柄上地域包括ケア協議会 (書面会議、Zoom会議)	1市5町の担当者会議の開催 東西地区在宅医療推進協議会 東西地区の会議に出席	1市5町の担当者会議の開催 6回 東西地区在宅医療推進協議会 足柄上地域包括ケア協議会 (書面会議、Zoom会議)	1市5町の担当者会議の開催 東西地区在宅医療推進協議会 東西地区の会議に出席	1市5町の担当者会議の開催 6回 東西地区在宅医療推進協議会 足柄上地域包括ケア協議会 (書面会議、Zoom会議)
認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況
令和元年度と同様。	オレンジパートナーが認知症カフェ、認知症の方の支援の一つである農園活動に協力。カフェや農園ともに地域住民やボランティアの参加も増えています。	令和元年度と同様。	オレンジパートナーが認知症カフェ、認知症の方の支援の一つである農園活動に協力。カフェや農園ともに地域住民やボランティアの参加も増えています。	令和元年度と同様。	オレンジパートナーが認知症カフェ、認知症の方の支援の一つである農園活動に協力。
②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組
くもんを活用した認知症予防教室の開催。 介護予防サポート隊の活動は令和元年度と同様に継続。	認知症予防教室の開催 介護予防サポート隊のボランティア団体がポランティア団体を取り入れた教室を開設 ※いずれもコロナ感染予防対策でマニュアル等を作成し実施	くもんを活用した認知症予防教室の開催。 介護予防サポート隊の活動は令和元年度と同様に継続。	認知症予防教室の開催 介護予防サポート隊のボランティア団体がポランティア団体を取り入れた教室を開催	くもんを活用した認知症予防教室の開催。 介護予防サポート隊の活動は令和元年度と同様に継続。	認知症予防教室の開催 介護予防サポート隊のボランティア団体がポランティア団体を取り入れた教室を開催
③その他	③その他	③その他	③その他	③その他	③その他

＜様式1＞ 県西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組（R2年度実績とR3年度計画）
～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について～

市町（中井町） 担当課（健康課）		R3年度計画	
R2年度実績		R2年度実績	
在宅医療・介護連携の推進		在宅医療・介護連携の推進	
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	介護事業所の情報は変わりが無いのでHPで定期的に確認した	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	介護事業所の情報は変わりが無いのでHPで定期的に確認した
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 5回 他機関で開催する研修会、学会への参加 PDCAサイクルに添った政策が出来るよう市町村と協働するため研修会を開催する。	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 5回 他機関で開催する研修会、学会への参加 PDCAサイクルに添った政策が出来るよう市町村と協働するため研修会を開催する。
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	県立足柄上病院地域連携推進連絡会12回 訪問介護事業所・訪問看護ステーション10回など業種別の勉強会や情報交換の開催 令和元年度同業種別の集まりを目的目標を持った会にして自主性を高める	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	県立足柄上病院地域連携推進連絡会 12回 訪問介護事業所・訪問看護ステーション10回など業種別の勉強会や情報交換の開催 令和元年度同業種別の集まりを目的目標を持った会にして自主性を高める
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	あしがらケアマネジャー連絡会への支援 CM対談へ緊急の理解を深める 同士の研修を積み、情報交換や懇親会などホームベースの活用	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	あしがらケアマネジャー連絡会への支援 CM対談へ緊急の理解を深める 同士の研修を積み、情報交換や懇親会などホームベースの活用
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携推進室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携推進室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。
カ 医療・介護関係者の研修	年2回程度 懇談会を入れて顔の見え関係づくり ディスカッションができるグループワークやワールドカフェなど	カ 医療・介護関係者の研修	がんの疾患の理解とケアについて（WEB研修）
キ 地域住民への普及啓発	年2回程度 映画上映と監督講演「ほげますからよろしくお願ひいたします」	キ 地域住民への普及啓発	映画上映と監督講演「ほげますからよろしくお願ひいたします」
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	1市5町の担当者会議の開催 県西地区の会議に出席	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	1市5町の担当者会議の開催 5回 県西地区在宅医療推進協議会 1回 足柄上地域食生活対策協議会（書面会議、200回会議）
認知症施策の推進	①住民活動の状況 ・認知症サポーターの養成（小学生、消防団、自治会など） ・ステップアップ講座の開催 → 認知症カフェ等でボランティア活動をする人を増やしていく。	認知症施策の推進	①住民活動の状況 ・認知症サポーターの養成（町職員、民生委員、一般対象 計3回） ・認知症サポーターによるボランティア活動（認知症カフェ）が3名から6名に増えた。
②介護予防の取組	・認知症予防運動教室「続けよう！コグニサイズ」の継続開催（月1回） 新規参加者の募集、コグニサイズの活用	②介護予防の取組	・緊急事態宣言に伴い、7月～12月まで「続けよう！コグニサイズ」毎月開催。この他、介護予防事業中でコグニサイズを活用。
③その他		③その他	

＜様式1＞ 県西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組(R2年度実績とR3年度計画)～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について～

R2年度実績		R3年度計画	
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
新規開業、閉鎖等の事業所の確認をして即上に訂正する。	介護事業所の情報は変わり易いので即で定期的に確認した	介護事業所の情報は変わり易いので即で定期的に確認した	介護事業所の情報は変わり易いので即で定期的に確認した
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて11市5町担当協議5回 1市5町の地域ケア会議等への出席 20回 足柄上地域包括支援センター連絡会への参加 5回 他機関で開催する研修会への参加 PICKアップケアに関する政策が出来るよう市町村と協働するため研修会を開催する。	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて11市5町担当協議5回 1市5町の地域ケア会議等への出席 20回 足柄上地域包括支援センター連絡会への参加 5回 他機関で開催する研修会への参加は全てWEB参加となった。2回 PICKアップケアに関する政策が出来るよう市町村と協働するため研修会を開催する。	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて11市5町担当協議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 20回 足柄上地域包括支援センター連絡会への参加 5回 他機関で開催する研修会への参加 PICKアップケアに関する政策が出来るよう市町村と協働するため研修会を開催する。	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて11市5町担当協議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 20回 足柄上地域包括支援センター連絡会への参加 5回 他機関で開催する研修会への参加 PICKアップケアに関する政策が出来るよう市町村と協働するため研修会を開催する。
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
県立足柄上病院地域連携推進連絡会 2回 医療・介護関係者との協議 5回 医療・介護関係者との協議 5回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 3回 グループホーム 5回、入所施設 2回 足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回 足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回	県立足柄上病院地域連携推進連絡会 8回 医療・介護関係者との協議 5回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 3回 グループホーム 5回、入所施設 2回 足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回	県立足柄上病院地域連携推進連絡会 12回 医療・介護関係者との協議 5回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 5回 グループホーム 5回、入所施設 5回 足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回 県立足柄上病院地域連携推進協議会として登録されると年12回以上の連携した研修会等の開催がノルマとなるためより連携が可能となる。	県立足柄上病院地域連携推進連絡会 12回 医療・介護関係者との協議 5回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 5回 グループホーム 5回、入所施設 5回 足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回 県立足柄上病院地域連携推進協議会として登録されると年12回以上の連携した研修会等の開催がノルマとなるためより連携が可能となる。
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
あしがらケアマネジャー連絡会への支援 認知症・医療の理解を深める CMMの研修会、情報交換や懇親会など ホームページの活用	神奈川県医師会在宅医療・介護推進センターや神奈川県介護支援専門員協会主催の研修会の周知、その他、依頼があった研修会等の案内やメール等で周知した。	多機関で実施している研修会等の周知、WEB会議やWEB研修会を進める。	多機関で実施している研修会等の周知、WEB会議やWEB研修会を進める。
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携推進室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携推進室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。15件	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携推進室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携推進室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
在宅医療・介護関係者の研修 在宅医療・介護関係者の研修 在宅医療・介護関係者の研修 在宅医療・介護関係者の研修	がんの疾患の理解とケアについて (WEB研修) 在宅医療・介護関係者の研修	在宅医療・介護関係者の研修	在宅医療・介護関係者の研修
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
映画上映と監督講演「ぼけますからよろしくお願ひいたします」	映画上映と監督講演「ぼけますからよろしくお願ひいたします」	映画上映、講演会の開催	映画上映、講演会の開催
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
1市5町の担当協議の開催 県西地区の会議に出席 認知症施策の推進	1市5町の担当協議の開催 5回 県西地区在宅医療推進協議会 1回 足柄上地域包括ケア会議、県西地区在宅医療推進協議会 (書面会議、20回開催) 認知症施策の推進	1市5町の担当協議の開催 6回 県西地区在宅医療推進協議会 足柄上地域包括ケア会議、県西地区在宅医療推進協議会 (書面会議、20回開催)	1市5町の担当協議の開催 6回 県西地区在宅医療推進協議会 足柄上地域包括ケア会議、県西地区在宅医療推進協議会 (書面会議、20回開催)
①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況
町民主体の自主グループの活動を後方支援。認知症の方も受け入れてもらう。 「おおいねトレイル」(認知症予防)が月1回開催。 「うらたごえ」(歌で介護予防)が月1回開催。 「笑いのヨガ」(笑い運動で介護予防)が月1回開催。 認知症カフェを認知症サポーター(住民)主体で月1回開催。	新型コロナウイルス感染症防止の観点で多くの町民主体の自主グループの活動を自粛している中、活動を再開した自主グループの後方支援を実施。認知症の方も受け入れてもらう。 「おおいねトレイル」(認知症予防)が11月から月1回開催。1月からは再び自粛中。 「うらたごえ」(歌で介護予防)、「笑いのヨガ」(笑い運動で介護予防)は自粛継続中。 認知症カフェを認知症サポーター(住民)主体で9月から月1回開催。	新型コロナウイルス感染症防止により活動を開始した場合は、町民主体の自主グループの活動を後方支援。認知症の方も受け入れてもらう。 「おおいねトレイル」(認知症予防)が月1回開催。 「うらたごえ」(歌で介護予防)が月1回開催。 「笑いのヨガ」(笑い運動で介護予防)が月1回開催予定。 認知症カフェを認知症サポーター(住民)主体で月1回開催。	新型コロナウイルス感染症防止により活動を開始した場合は、町民主体の自主グループの活動を後方支援。認知症の方も受け入れてもらう。 「おおいねトレイル」(認知症予防)が月1回開催。 「うらたごえ」(歌で介護予防)が月1回開催予定。 「笑いのヨガ」(笑い運動で介護予防)が月1回開催予定。 認知症カフェを認知症サポーター(住民)主体で月1回開催。
②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組
4月から6月は緊急事態宣言を受け、休止。7月より町一般介護予防事業を町内12会場で開催を実施。現在、育成したボランティアで企画運営を実施。 認知症サポーターグループは今年度末実施するため、現在の自主グループは自粛継続中。 認知症サポーターグループにより、認知症の二次予防と本人、家族支援を継続実施。	4月から6月は緊急事態宣言を受け、休止。7月より町一般介護予防事業を町内12会場で開催を実施。現在、育成したボランティアで企画運営を実施。 認知症サポーターグループは今年度末実施するため、現在の自主グループは自粛継続中。 認知症サポーターグループにより、認知症の二次予防と本人、家族支援を継続実施。	町一般介護予防事業を町内12会場で開催。現在、育成したボランティアで企画運営を実施。 認知症サポーターグループは今年度末実施のため、現在の自主グループは自粛継続中。 認知症サポーターグループにより、認知症の二次予防と本人、家族支援を継続実施。	町一般介護予防事業を町内12会場で開催。現在、育成したボランティアで企画運営を実施。 認知症サポーターグループは今年度末実施のため、現在の自主グループは自粛継続中。 認知症サポーターグループにより、認知症の二次予防と本人、家族支援を継続実施。
③その他	③その他	③その他	③その他
2年度も認知症初期集中支援チームを直営包括のチーム員とサポート医・認知症医療センターと連携しながら実施。 ケアパスを、2年度は認知症本人、家族の意見を聞きながら更新するとともに、サポート医や地域支援者による必要な人への配布に加えて、行政機関(内科、歯科)医師・薬剤師・看護師・保健師・介護士・福祉士等の関係者による必要な人への配布に加えて、行政機関(内科、歯科)医師・薬剤師・看護師・保健師・介護士・福祉士等の関係者による必要な人への配布を、情報を得やすい環境を整備。 認知症コーディネーターの設置により情報集約をし、情報を得やすい環境を整備。	2年度も認知症初期集中支援チームを直営包括のチーム員とサポート医・認知症医療センターと連携しながら実施。 ケアパスを、2年度は認知症本人、家族の意見を聞きながら更新するとともに、サポート医や地域支援者による必要な人への配布に加えて、行政機関(内科、歯科)医師・薬剤師・看護師・保健師・介護士・福祉士等の関係者による必要な人への配布を、情報を得やすい環境を整備。 認知症コーディネーターの設置により情報集約をし、情報を得やすい環境を整備。	3年度も認知症初期集中支援チームを直営包括のチーム員とサポート医・認知症医療センターと連携しながら実施。 ケアパスを、3年度は認知症本人、家族の意見を聞きながら更新するとともに、サポート医や地域支援者による必要な人への配布に加えて、行政機関(内科、歯科)医師・薬剤師・看護師・保健師・介護士・福祉士等の関係者による必要な人への配布を、情報を得やすい環境を整備。 認知症コーディネーターの設置により情報集約をし、情報を得やすい環境を整備。	3年度も認知症初期集中支援チームを直営包括のチーム員とサポート医・認知症医療センターと連携しながら実施。 ケアパスを、3年度は認知症本人、家族の意見を聞きながら更新するとともに、サポート医や地域支援者による必要な人への配布に加えて、行政機関(内科、歯科)医師・薬剤師・看護師・保健師・介護士・福祉士等の関係者による必要な人への配布を、情報を得やすい環境を整備。 認知症コーディネーターの設置により情報集約をし、情報を得やすい環境を整備。

＜様式1＞ 県西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組(R2年度実績とR3年度計画)・
～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について～

R2年度計画		R2年度実績		R3年度計画	
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
新規開業、閉鎖等の事業所の確認をして即上にて訂正する。	介護事業所の情報は変わり易いので即で定期的に確認した	介護事業所の情報は変わり易いので即で定期的に確認した	介護事業所の情報は変わり易いので即で定期的に確認した	改訂版の発行を行政と共に検討する。	改訂版の発行を行政と共に検討する。
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
小原保健福祉事務所足柄上セセンターも交えて5市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 20回 足柄上地域包括ケア協議会等への参加 5回 PDRを定期的に開催する研修会への参加 2回 PDRを定期的に開催する研修会への参加 2回	小原保健福祉事務所足柄上セセンターも交えて5市5町担当者会議5回 1市5町の地域ケア会議等への出席 20回 足柄上地域包括ケア協議会等への参加 5回 他機関で開催する研修会への参加は全てWEB参加となった。2回	小原保健福祉事務所足柄上セセンターも交えて5市5町担当者会議5回 1市5町の地域ケア会議等への出席 20回 足柄上地域包括ケア協議会等への参加 5回 他機関で開催する研修会への参加は全てWEB参加となった。2回	小原保健福祉事務所足柄上セセンターも交えて5市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 20回 足柄上地域包括ケア協議会等への参加 5回 PDRを定期的に開催する研修会への参加 2回 PDRを定期的に開催する研修会への参加 2回	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ・小原保健福祉事務所足柄上セセンターも交えて5市5町担当者会議6回 ・1市5町の地域ケア会議等への出席 20回 ・足柄上地域包括ケア協議会等への参加 5回 ・PDRを定期的に開催する研修会への参加 2回 ・PDRを定期的に開催する研修会への参加 2回	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ・小原保健福祉事務所足柄上セセンターも交えて5市5町担当者会議6回 ・1市5町の地域ケア会議等への出席 20回 ・足柄上地域包括ケア協議会等への参加 5回 ・PDRを定期的に開催する研修会への参加 2回 ・PDRを定期的に開催する研修会への参加 2回
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
県立足柄上病院地域連携推進連絡会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護5回 入所施設3回、訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護1回など業種別の勉強会や情報交換の開催 令和元年度同業種別の集まりを目的目標を持った会として自主性を高める	県立足柄上病院地域連携推進連絡会 8回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 3回 グループホーム3回、入所施設 2回 足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回	県立足柄上病院地域連携推進連絡会 8回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 3回 グループホーム3回、入所施設 2回 足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回	県立足柄上病院地域連携推進連絡会 12回 医療・介護地域連絡会 6回 業種別の情報交換会、勉強会は、訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 5回 グループホーム5回、入所施設 5回 足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回 県立足柄上病院が地域医療支援体協賛として登録されること年12回以上の連携した研修会等の開催がノルマとなるためより連携した事業が可能となる。	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 ・県立足柄上病院地域連携推進連絡会 12回 ・医療・介護地域連絡会 6回 ・業種別の情報交換会、勉強会は、訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 5回 ・グループホーム5回、入所施設 5回 ・足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回 ・県立足柄上病院が地域医療支援体協賛として登録されること年12回以上の連携した研修会等の開催がノルマとなるためより連携した事業が可能となる。	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 ・県立足柄上病院地域連携推進連絡会 12回 ・医療・介護地域連絡会 6回 ・業種別の情報交換会、勉強会は、訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 5回 ・グループホーム5回、入所施設 5回 ・足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回 ・県立足柄上病院が地域医療支援体協賛として登録されること年12回以上の連携した研修会等の開催がノルマとなるためより連携した事業が可能となる。
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
あしがらケアマネジメント研修会への支援 ひびく対象へ緊急の連絡を深める ひびく対象への研修を複数、情報交換や懇話会など ホームベーションの活用	神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンターや神奈川県医師会職員協会主催の研修会の周知、その他、依頼があった研修会等の案内をFAXやメール等で周知した。	神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンターや神奈川県医師会職員協会主催の研修会の周知、その他、依頼があった研修会等の案内をFAXやメール等で周知した。	神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンターや神奈川県医師会職員協会主催の研修会の周知、その他、依頼があった研修会等の案内をFAXやメール等で周知した。	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援 多機関で実施している研修会等の周知、WEB会議やWEB研修会を進める。	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援 多機関で実施している研修会等の周知、WEB会議やWEB研修会を進める。
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携推進センター等と連携して相談に応じる。	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携推進センター等と連携して相談に応じる。1名件	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携推進センター等と連携して相談に応じる。1名件	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携推進センター等と連携して相談に応じる。	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援 地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携推進センター等と連携して相談に応じる。	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援 地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携推進センター等と連携して相談に応じる。
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
年2回程度 懇話会を入れて顔の見える関係づくり フェイスブックやグループワークやワールドカフェなど	がんの疾患の理解とケアについて（WEB研修）	がんの疾患の理解とケアについて（WEB研修）	がんの疾患の理解とケアについて（WEB研修）	WEB研修を進める（認知症他）	WEB研修を進める（認知症他）
年2回程度 5月23日（土）映画上映と監督講演「ほげますからよろしくお願ひいたします」	映画上映と監督講演「ほげますからよろしくお願ひいたします」	映画上映と監督講演「ほげますからよろしくお願ひいたします」	映画上映と監督講演「ほげますからよろしくお願ひいたします」	カ 医療・介護関係者の研修 WEB研修を進める（認知症他）	カ 医療・介護関係者の研修 WEB研修を進める（認知症他）
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
年2回程度 5月23日（土）映画上映と監督講演「ほげますからよろしくお願ひいたします」	映画上映と監督講演「ほげますからよろしくお願ひいたします」	映画上映と監督講演「ほげますからよろしくお願ひいたします」	映画上映と監督講演「ほげますからよろしくお願ひいたします」	キ 地域住民への普及啓発 映画上映、講演会の開催	キ 地域住民への普及啓発 映画上映、講演会の開催
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
1市5町の担当者会議の開催 県西地区の会議に出席	1市5町の担当者会議の開催 5回 県西地区在宅医療推進協議会 1回 県西地区の会議に出席	1市5町の担当者会議の開催 5回 県西地区在宅医療推進協議会 1回 県西地区の会議に出席	1市5町の担当者会議の開催 5回 県西地区在宅医療推進協議会 1回 県西地区の会議に出席	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携 ・1市5町の担当者会議の開催 6回 ・県西地区在宅医療推進協議会 ・足柄上地域包括ケア協議会（審議会、2004会議）	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携 ・1市5町の担当者会議の開催 6回 ・県西地区在宅医療推進協議会 ・足柄上地域包括ケア協議会（審議会、2004会議）
認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況
介護予防教室を前年と同規模で、年間約180回開催予定。	介護予防教室を町内3箇所で開催。（開催期間3～4月） ・住民ボランティア主体で介護予防教室に住民ボランティアがスタッフとして参加 ・年間約70回の開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	介護予防教室を町内3箇所で開催。（開催期間3～4月） ・住民ボランティア主体で介護予防教室に住民ボランティアがスタッフとして参加 ・年間約70回の開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	介護予防教室を町内3箇所で開催。（開催期間3～4月） ・住民ボランティア主体で介護予防教室に住民ボランティアがスタッフとして参加 ・年間約70回の開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	①住民活動の状況 新型コロナウイルス感染症の状況に依り、介護予防教室を通常年度と同規模開催の予定。	①住民活動の状況 新型コロナウイルス感染症の状況に依り、介護予防教室を通常年度と同規模開催の予定。
②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組
介護予防教室のボランティア主体期間において、保健師によるフレイル予防（栄養・口腔）の取組みの充実を図る	介護予防教室のボランティア主体期間において、保健師によるフレイル予防（栄養・口腔）の取組みの充実を図る	介護予防教室のボランティア主体期間において、保健師によるフレイル予防（栄養・口腔）の取組みの充実を図る	介護予防教室のボランティア主体期間において、保健師によるフレイル予防（栄養・口腔）の取組みの充実を図る	②介護予防の取組 介護予防教室のボランティア主体期間に、保健師によるフレイル予防（栄養・口腔）の取組みの充実を図る。	②介護予防の取組 介護予防教室のボランティア主体期間に、保健師によるフレイル予防（栄養・口腔）の取組みの充実を図る。
③その他	③その他	③その他	③その他	③その他	③その他
令和元年度に町内1箇所で開催した認知症カフェは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 認知症予防ボランティア養成講座（住民向け）を2～3回開催予定。ステップアップ講座の開催を検討	令和元年度に町内1箇所で開催した認知症カフェは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 認知症予防ボランティア養成講座について、毎年開催している中学3年生向け講座はオンライン形式で2月下旬に開催予定。住民向け・聴覚向け講座は感染症拡大防止のため中止。	令和元年度に町内1箇所で開催した認知症カフェは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 認知症予防ボランティア養成講座について、毎年開催している中学3年生向け講座はオンライン形式で2月下旬に開催予定。住民向け・聴覚向け講座は感染症拡大防止のため中止。	令和元年度に町内1箇所で開催した認知症カフェは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 認知症予防ボランティア養成講座について、毎年開催している中学3年生向け講座はオンライン形式で2月下旬に開催予定。住民向け・聴覚向け講座は感染症拡大防止のため中止。	③その他 ・認知症カフェは、感染症の状況に依り、再開の予定。 ・住民向け・聴覚向けボランティア養成講座は、感染症の状況に依り、再開の予定。 ・ステップアップ講座の開催を検討。	③その他 ・認知症カフェは、感染症の状況に依り、再開の予定。 ・住民向け・聴覚向けボランティア養成講座は、感染症の状況に依り、再開の予定。 ・ステップアップ講座の開催を検討。

＜様式1＞ 県西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組(R2年度実績とR3年度計画)～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について～

R2年度実績		R3年度計画	
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
新規開業、閉鎖等の事業所の確認をして冊上に訂正する。	介護事業所の情報は変わり易いので冊上で定期的に確認した	介護事業所の情報は変わり易いので冊上で定期的に確認した	改訂版の発行を行政と共に検討する。
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連合会への参加 他機関で開催する研修会への参加 PDCAサイクルに添った政策が出来るよう市町村と協働するため研修会を開催する。	・小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議5回 ・1市5町の地域ケア会議等への出席 2回 ・足柄上地区地域包括支援センター連合会への参加 5回 ・他機関で開催する研修会への参加は全てWEB参加となった。2回	・小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議5回 ・1市5町の地域ケア会議等への出席 2回 ・足柄上地区地域包括支援センター連合会への参加 5回 ・他機関で開催する研修会への参加は全てWEB参加となった。2回	・小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 ・1市5町の地域ケア会議等への出席 ・足柄上地区地域包括支援センター連合会への参加 5回 ・他機関で開催する研修会への参加 ・PDCAサイクルに添った政策が出来るよう市町村と協働するため研修会を開催。
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
県立足柄上病院地域連携推進連絡会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 入所施設2回、訪問看護ステーション1回など業種別の勉強会や情報交換の開催 令和元年度同様業種別の集まりを目的目標を持った会にして自主性を高める	・県立足柄上病院地域連携推進連絡会 8回 ・医療・介護地域連絡会 2回 ・業種別の情報交換会、勉強会は、訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 グループホーム3回、入所施設 2回 ・足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回	・県立足柄上病院地域連携推進連絡会 8回 ・医療・介護地域連絡会 2回 ・業種別の情報交換会、勉強会は、訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 グループホーム3回、入所施設 2回 ・足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回	・県立足柄上病院地域連携推進連絡会 12回 ・医療・介護地域連絡会 6回 ・業種別の情報交換会、勉強会は、訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護 グループホーム5回、入所施設 5回 ・足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 1回 ・県立足柄上病院が地域医療支援病院として登録されると年12回以上の連携した研修会等の開催がノルマとなるためより連携した事業が可能となる。
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
あしがらケアマネジャー連絡会への支援 CM対象へ疾患の理解を深める CM同士の研修を積み、情報交換や懇親会など ホームページの活用	神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンターや神奈川県介護支援専門員協会主催の研修会の周知、その他、依頼があった研修会等の案内をPAXやメール等で周知した。	神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンターや神奈川県介護支援専門員協会主催の研修会の周知、その他、依頼があった研修会等の案内をPAXやメール等で周知した。	多機関で実施している研修会等の周知。WEB会議やWEB研修会を進める。
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。15件	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
年2回程度 懇親会を入れて顔の見える関係づくり フェイスブックができるグループワークやワールドカフェなど	がんの疾患の理解とケアについて (WEB研修)	がんの疾患の理解とケアについて (WEB研修)	WEB研修を進める (認知症他)
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
年2回程度予定 5月23日(土) 映画上映と監督講演「ほげますからよろしくお願ひいたします」	映画上映と監督講演「ほげますからよろしくお願ひいたします」	映画上映と監督講演「ほげますからよろしくお願ひいたします」	映画上映、講演会の開催
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
1市5町の担当者会議の開催 県西地区の会議に出席	・1市5町の担当者会議の開催 5回 ・県西地域包括ケア会議・県西地区在宅医療推進協議会 1回 ・足柄上地域域食生活対策協議会 (書面会議、200回会議)	・1市5町の担当者会議の開催 5回 ・県西地域包括ケア会議・県西地区在宅医療推進協議会 1回 ・足柄上地域域食生活対策協議会 (書面会議、200回会議)	・1市5町の担当者会議の開催 6回 ・県西地域包括ケア会議・県西地区在宅医療推進協議会 (書面会議、200回会議)
認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況
R1年度に引き続き、町認知症施策へ協力 認知症カフェの開催時間拡大と増回(月1回へ)	新型コロナウイルス感染症予防のため認知症カフェが中止されており、実際の活動は実施できなかった。	新型コロナウイルス感染症予防のため認知症カフェが中止されており、実際の活動は実施できなかった。	感染症予防をしながらの活動再開を検討中。
②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組
町内サロモンへ保健師が出向いてコグニティブサイエンス実施 体線サロモン、福祉部サロモンへコグニティブサイエンス実施 →保健師の派遣、物品貸出について更に周知を図る	集会型の教室は中止し、予約制の体力測定会を地区集会所で実施。	集会型の教室は中止し、予約制の体力測定会を地区集会所で実施。	感染リスクの低い実施方法で、通いの場へのアプローチを更にしていく。
③その他	③その他	③その他	③その他

<構式1> 県西地区各町における地域包括ケアシステムの取組(R2年度実績とR3年度計画)について

R2年度計画		R2年度実績		R3年度計画	
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
・ 既存の社会資源や介護サービス事業者の案内の更新に努める。	・ 既存の社会資源や介護サービス事業者の案内の更新に努める。	・ 既存の社会資源や介護サービス事業者の案内の更新に努める。	・ 既存の社会資源や介護サービス事業者の案内の更新に努める。	・ 既存の社会資源や介護サービス事業者の案内の更新に努める。	・ 既存の社会資源や介護サービス事業者の案内の更新に努める。
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
・ 地域の医療・介護の関係団体が参画する会議として、医師、歯科医師、薬剤師、介護事業所等の代表者が出席する地域ケア会議を活用し、在宅医療・介護連携にかかわる課題の抽出を行っている。地域ケア会議は、年間5回開催し、地域ケア全体会議を年度末に1回開催する予定である。	・ 地域ケア会議 2回/年(うち審議会1回) ・ 地域ケア全体会議 1回/年(審議会を予定) ・ 生活支援・介護予防体制推進協議会 2回/年 ・ 拡充と買い物支援について検討	・ 地域の医療・介護の関係団体が参画する会議として、医師、歯科医師、薬剤師、介護事業所等の代表者が出席する地域ケア会議を活用し、在宅医療・介護連携にかかわる課題の抽出を行っている。地域ケア会議は、年間5回開催し、地域ケア全体会議を年度末に1回開催する予定である。	・ 地域ケア会議 2回/年(うち審議会1回) ・ 地域ケア全体会議 1回/年(審議会を予定) ・ 生活支援・介護予防体制推進協議会 2回/年 ・ 拡充と買い物支援について検討	・ 地域の医療・介護の関係団体が参画する会議として、医師、歯科医師、薬剤師、介護事業所等の代表者が出席する地域ケア会議を活用し、在宅医療・介護連携にかかわる課題の抽出を行っている。地域ケア会議は、年間5回開催し、地域ケア全体会議を年度末に1回開催する予定である。	・ 地域ケア会議 2回/年(うち審議会1回) ・ 地域ケア全体会議 1回/年(審議会を予定) ・ 生活支援・介護予防体制推進協議会 2回/年 ・ 拡充と買い物支援について検討
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
・ 令和2年4月から情報連携シート「在宅医療・介護連携ツール」の使用開始し、利用した際の課題等あれば、検討していくもの。	・ 令和2年4月から情報連携シート「在宅医療・介護連携ツール」の使用開始し、利用した際の課題等あれば、検討していくもの。	・ 令和2年4月から情報連携シート「在宅医療・介護連携ツール」の使用開始し、利用した際の課題等あれば、検討していくもの。	・ 令和2年4月から情報連携シート「在宅医療・介護連携ツール」の使用開始し、利用した際の課題等あれば、検討していくもの。	・ 令和2年4月から情報連携シート「在宅医療・介護連携ツール」の使用開始し、利用した際の課題等あれば、検討していくもの。	・ 令和2年4月から情報連携シート「在宅医療・介護連携ツール」の使用開始し、利用した際の課題等あれば、検討していくもの。
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
・ 町内の在宅医療・介護連携の相談窓口は、町保健師が担当する。また、小田原医師会と連携し地域医療連携室にも在宅医療に関する相談を受けていただき、相談窓口の拡充を図る。	・ 町保健師担当の相談窓口の開設(常時) ・ 小田原医師会地域医療連携室での相談窓口の開設(常時)	・ 町内の在宅医療・介護連携の相談窓口は、町保健師が担当する。また、小田原医師会と連携し地域医療連携室にも在宅医療に関する相談を受けていただき、相談窓口の拡充を図る。	・ 町保健師担当の相談窓口の開設(常時) ・ 小田原医師会地域医療連携室での相談窓口の開設(常時)	・ 町内の在宅医療・介護連携の相談窓口は、町保健師が担当する。また、小田原医師会と連携し地域医療連携室にも在宅医療に関する相談を受けていただき、相談窓口の拡充を図る。	・ 町内の在宅医療・介護連携の相談窓口は、町保健師が担当する。また、小田原医師会と連携し地域医療連携室にも在宅医療に関する相談を受けていただき、相談窓口の拡充を図る。(令和2年度と同様)
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
・ 小田原医師会及び1市3町で「多職種連携共同研修」を年3回実施する。	・ 小田原医師会及び1市3町で「多職種連携共同研修」を年1回、Zoomを活動したWeb研修を実施する。(3月4日を予定)新型コロナウイルス感染症の影響で年1回の実施となったもの。テーマ「新型コロナウイルス感染症について自分たちができること」と	・ 小田原医師会及び1市3町で「多職種連携共同研修」を年1回、Zoomを活動したWeb研修を実施する。(3月4日を予定)新型コロナウイルス感染症の影響で年1回の実施となったもの。テーマ「新型コロナウイルス感染症について自分たちができること」と	・ 小田原医師会及び1市3町で「多職種連携共同研修」を年1回、Zoomを活動したWeb研修を実施する。(3月4日を予定)新型コロナウイルス感染症の影響で年1回の実施となったもの。テーマ「新型コロナウイルス感染症について自分たちができること」と	・ 小田原医師会及び1市3町で「多職種連携共同研修」を年3回実施する。	・ 小田原医師会及び1市3町で「多職種連携共同研修」を年3回実施する。
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
・ 地域包括支援センターを通じて、社会資源・ネットワーク一覧をネットに掲載し、随時検索できるようにする。 ・ 介護や在宅医療に関する正しい知識の普及のため、家族介護教室等を開催する。 ・ 在宅医療・介護連携推進のための講演会を実施する。(隔年開催)	・ 地域包括支援センターを通じて、社会資源・ネットワーク一覧をネットに掲載し、随時検索できるようにしている。(8月10日～) ・ 介護や在宅医療に関する正しい知識の普及のため、家族介護教室等を開催した。(年1回) ・ 在宅医療・介護連携推進のための講演会、新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。	・ 地域包括支援センターを通じて、社会資源・ネットワーク一覧をネットに掲載し、随時検索できるようにしている。(8月10日～) ・ 介護や在宅医療に関する正しい知識の普及のため、家族介護教室等を開催した。(年1回) ・ 在宅医療・介護連携推進のための講演会、新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。	・ 地域包括支援センターを通じて、社会資源・ネットワーク一覧をネットに掲載し、随時検索できるようにしている。(8月10日～) ・ 介護や在宅医療に関する正しい知識の普及のため、家族介護教室等を開催した。(年1回) ・ 在宅医療・介護連携推進のための講演会、新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。	・ 地域包括支援センターを通じて、社会資源・ネットワーク一覧をネットに掲載し、随時検索できるようにする。 ・ 介護や在宅医療に関する正しい知識の普及のため、家族介護教室等を開催する。 ・ 在宅医療・介護連携推進のための講演会を実施する。(隔年開催)	・ 地域包括支援センターを通じて、社会資源・ネットワーク一覧をネットに掲載し、随時検索できるようにする。 ・ 介護や在宅医療に関する正しい知識の普及のため、家族介護教室等を開催する。 ・ 在宅医療・介護連携推進のための講演会を実施する。(隔年開催)
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
・ 県西地区地域包括ケア会議、県西地区在宅医療推進協議会、県西地区地域包括ケアシステム推進行政担当者会議などを通じて連携を図る。	・ 新型コロナウイルス感染症の影響から、審議会等により県西地区地域包括ケア会議、県西地区在宅医療推進協議会、県西地区地域包括ケアシステム推進行政担当者会議などを通じて連携を図った。	・ 新型コロナウイルス感染症の影響から、審議会等により県西地区地域包括ケア会議、県西地区在宅医療推進協議会、県西地区地域包括ケアシステム推進行政担当者会議などを通じて連携を図った。	・ 新型コロナウイルス感染症の影響から、審議会等により県西地区地域包括ケア会議、県西地区在宅医療推進協議会、県西地区地域包括ケアシステム推進行政担当者会議などを通じて連携を図った。	・ 県西地区地域包括ケア会議、県西地区在宅医療推進協議会、県西地区地域包括ケアシステム推進行政担当者会議などを通じて連携を図る。(令和2年度と同様)	・ 県西地区地域包括ケア会議、県西地区在宅医療推進協議会、県西地区地域包括ケアシステム推進行政担当者会議などを通じて連携を図る。(令和2年度と同様)
認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況
②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組
・ 認知症予防に効果があるとされるコグニティブを中心とした「脳と体の若返り教室」を1コース(12回)開催する。(会場:山崎集会所)	・ 認知症予防に効果があるとされるコグニティブを中心とした「脳と体の若返り教室」を1コース(10回)開催した。(会場:山崎集会所) ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により1コース12回を10回に減らして実施。	・ 認知症予防に効果があるとされるコグニティブを中心とした「脳と体の若返り教室」を1コース(10回)開催した。(会場:山崎集会所) ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により1コース12回を10回に減らして実施。	・ 認知症予防に効果があるとされるコグニティブを中心とした「脳と体の若返り教室」を1コース(10回)開催した。(会場:山崎集会所) ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により1コース12回を10回に減らして実施。	・ 認知症予防に効果があるとされるコグニティブを中心とした「脳と体の若返り教室」を1コース(12回)開催する。(会場:山石原文化センター)	・ 認知症予防に効果があるとされるコグニティブを中心とした「脳と体の若返り教室」を1コース(12回)開催する。(会場:山石原文化センター)
③その他	③その他	③その他	③その他	③その他	③その他
・ 初期集中支援チーム員会議を小田原市・真鶴町・湯河原町・箱根町の一市三町共同開催で実施する。(年6回)	・ 初期集中支援チーム員会議を小田原市・真鶴町・湯河原町・箱根町の一市三町共同開催で実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により年4回となる予定。(審議会での開催を含めて)	・ 初期集中支援チーム員会議を小田原市・真鶴町・湯河原町・箱根町の一市三町共同開催で実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により年4回となる予定。(審議会での開催を含めて)	・ 初期集中支援チーム員会議を小田原市・真鶴町・湯河原町・箱根町の一市三町共同開催で実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により年4回となる予定。(審議会での開催を含めて)	・ 初期集中支援チーム員会議を小田原市・真鶴町・湯河原町・箱根町の一市三町共同開催で実施する。(年6回)	・ 初期集中支援チーム員会議を小田原市・真鶴町・湯河原町・箱根町の一市三町共同開催で実施する。(年6回)

<様式1> 県西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組(R2年度実績とR3年度計画)
～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について～

R2年度実績		R3年度計画	
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
・町内や近隣の医療・介護サービスの見直しを行い、リストの更新を行いたい。	・適宜リストの更新を行っている	・町内や近隣の医療・介護サービスの見直しを行い、リストの更新に努める	・町内や近隣の医療・介護サービスの見直しを行い、リストの更新に努める
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
・現行の各種会議を利用し、町の現状や課題等について検討を継続する。	・左記のとおり	・現行の各種会議を利用し、町の現状や課題等について検討を継続する。	・現行の各種会議を利用し、町の現状や課題等について検討を継続する。
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
・町の医療機関に限られているため、広域での取り組みが必要。往診に関しては、医療機関に相談し状況に応じて個別に対応している。	・左記のとおり	・町の医療機関に限られているため、広域での取り組みが必要。往診に関しては、医療機関に相談し状況に応じて個別に対応している。	・町の医療機関に限られているため、広域での取り組みが必要。往診に関しては、医療機関に相談し状況に応じて個別に対応している。
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
・3師会、ケアネットOHMY及び1市3町共同で作成した、「在宅医療・介護連携ツール」の運用協力と支援を行う。	・左記のとおり	・3師会、ケアネットOHMY及び1市3町共同で作成した、「在宅医療・介護連携ツール」の運用協力と支援を行う。	・3師会、ケアネットOHMY及び1市3町共同で作成した、「在宅医療・介護連携ツール」の運用協力と支援を行う。
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
・平成28年度から小田原医師会地域医療連携室に「在宅医療」に関する相談窓口を設け、1市3町の医療機関に関する相談や往診・訪問診療に関する情報提供等をお願いしている。一般市民の相談に関しては、包括が中心になり対応している。	・左記のとおり	・平成28年度から小田原医師会地域医療連携室に「在宅医療」に関する相談窓口を設け、1市3町の医療機関に関する相談や往診・訪問診療に関する情報提供等をお願いしている。一般市民の相談に関しては、包括が中心になり対応している。	・平成28年度から小田原医師会地域医療連携室に「在宅医療」に関する相談窓口を設け、1市3町の医療機関に関する相談や往診・訪問診療に関する情報提供等をお願いしている。一般市民の相談に関しては、包括が中心になり対応している。
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
・多職種共同研修年3回実施予定	・多職種共同研修年1回実施予定	・多職種共同研修年3回実施予定	・多職種共同研修年3回実施予定
・自立支援型個別ケア会議を湯河原町と合同開催(年2回予定)	・自立支援型個別ケア会議を湯河原町と合同開催(1回実施済。残り1回実施予定)	・自立支援型個別ケア会議を湯河原町と合同開催(年2回予定)	・自立支援型個別ケア会議を湯河原町と合同開催(年2回予定)
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
・広域の活用や町の事業やイベントにおいて在宅医療・介護サービスにおけるチラシ等を配布し周知していく。	・広域の活用や町の事業やイベントにおいて在宅医療・介護サービスにおけるチラシ等を配布し周知していく	・広域の活用や町の事業やイベントにおいて在宅医療・介護サービスにおけるチラシ等を配布し周知していく。	・広域の活用や町の事業やイベントにおいて在宅医療・介護サービスにおけるチラシ等を配布し周知していく。
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
・小田原管内(1市3町)においては他市町の現状や取り組み等、情報交換を行い、共同で実施できる部分に関しては連携を図りながら進めていく。広域(2市8町)に関しては、保健福祉事務所が実施している会議に参加し、取り組み状況や現状把握に努めている。	・小田原管内(1市3町)においては他市町の現状や取り組み等、情報交換を行い、共同で実施できる部分に関しては連携を図りながら進めている。広域(2市8町)に関しては、保健福祉事務所が実施している会議に参加し、取り組み状況や現状把握に努めた。	・小田原管内(1市3町)においては他市町の現状や取り組み等、情報交換を行い、共同で実施できる部分に関しては連携を図りながら進めていく。広域(2市8町)に関しては、保健福祉事務所が実施している会議に参加し、取り組み状況や現状把握に努めている。	・小田原管内(1市3町)においては他市町の現状や取り組み等、情報交換を行い、共同で実施できる部分に関しては連携を図りながら進めていく。広域(2市8町)に関しては、保健福祉事務所が実施している会議に参加し、取り組み状況や現状把握に努めている。
認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況
・認知症サポーター養成講座 真鶴中学校3年生及び一般町民へ実施	・認知症サポーター養成講座 真鶴中学校3年生及び一般町民へ実施	・認知症サポーター養成講座 真鶴中学校3年生及び一般町民へ実施	・認知症サポーター養成講座 真鶴中学校3年生及び一般町民へ実施
・地域サロンと共催で認知症カフェ実施	・地域サロンと共催で認知症カフェ実施	・地域サロンと共催で認知症カフェ実施	・地域サロンと共催で認知症カフェ実施
②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組
・運動や音楽などを組み合わせたプログラム(コグニサイズ等)を実施。栄養改善教室、口腔機能向上教室を開催することにより、認知症等介護予防を取り組むために毎月教室を開催	・運動や音楽などを組み合わせたプログラム(コグニサイズ等)を実施。栄養改善教室、口腔機能向上教室を開催することにより、認知症等介護予防を取り組むために毎月教室を開催	・運動や音楽などを組み合わせたプログラム(コグニサイズ等)を実施。栄養改善教室、口腔機能向上教室を開催することにより、認知症等介護予防を取り組むために毎月教室を開催	・運動や音楽などを組み合わせたプログラム(コグニサイズ等)を実施。栄養改善教室、口腔機能向上教室を開催することにより、認知症等介護予防を取り組むために毎月教室を開催
③その他	③その他	③その他	③その他
・住民主体で高齢者の見守りや介護予防を目的に町内4か所の地域サロンを実施。車椅子や歩行補助具「まなすボ」(有償ボランティア)を平成29年4月から開始し、草取りや窓拭き、電球の交換等を実施。人員確保が課題のため、会員数を増やすことを目的にボランティア養成講座を検討	・住民主体で高齢者の見守りや介護予防を目的に町内4か所の地域サロンを実施。車椅子や歩行補助具「まなすボ」(有償ボランティア)を平成29年4月から開始し、草取りや窓拭き、電球の交換等を実施。人員確保が課題のため、会員数を増やすことを目的にボランティア養成講座を検討	・住民主体で高齢者の見守りや介護予防を目的に町内4か所の地域サロンを実施。車椅子や歩行補助具「まなすボ」(有償ボランティア)を平成29年4月から開始し、草取りや窓拭き、電球の交換等を実施。人員確保が課題のため、会員数を増やすことを目的にボランティア養成講座を検討	・住民主体で高齢者の見守りや介護予防を目的に町内4か所の地域サロンを実施。車椅子や歩行補助具「まなすボ」(有償ボランティア)を平成29年4月から開始し、草取りや窓拭き、電球の交換等を実施。人員確保が課題のため、会員数を増やすことを目的にボランティア養成講座を検討

